

バイオマス利活用施設の概要

作成日：平成 19 年 8 月 31 日

作成者：(財)日本システム開発研究所

<p style="text-align: center;">廃食油再生燃料化装置 ＜廃油精製フロー＞</p>	<p>【施設名称】 B D F 工房 (B D F 精製施設)</p>
	<p>【事業主体】 株式会社松本建材</p>
	<p>【所在地】 富山県小矢部市</p>
	<p>【運転開始年】 平成 18 年 (2006 年)</p>
<p>原材料および利用量</p>	<p>廃食用油 約 2 0 K L / 年</p>
<p>生産物 (種類)</p>	<p>B D F 18 . 5 K L / 年</p>
<p>利用方法</p>	<p>B D F 燃料を南砺市内の公共施設 (リサイクルセンター等) や農業高校へ送り、フォークリフト・ドーザーショベルの業務用機械、トラクター・コンバイン等の農業機械燃料及び自社の建設機械用燃料として再利用</p>
<p>導入目的・経緯</p>	<p>南砺市一円の学校・ホテル・飲食店からの廃食用油を回収・リサイクルすることにより、環境保護のための地域資源循環社会づくりを進める</p>
<p>設備仕様</p>	<p>B D F 精製機 (廃食油再生燃料化装置・EOSYS 5 0)</p>
<p>稼働状況</p>	
<p>経済性関連データ</p>	<p>補助なし。</p>
<p>導入効果</p>	<p>これまで廃棄してきた廃食用油をリサイクルできる。また B D F 燃料は黒煙の排出を減らす効果があり、軽油代替であるため、年間 18 . 5 K L の軽油使用を節約</p>
<p>運営上の課題</p>	<p>B D F が冬期凍結のため使用できないことから、軽油との混合使用が必要。新たな供給先の開拓及び市全域での取組に拡大し、廃食用油回収量及び精製量を増大し、低コスト化を図る</p>
<p>備考・参考資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ H18 年度北陸農政局バイオマス・ニッポン優良表彰 ・ 北陸農政局 HP (H18 年度北陸管内におけるバイオマス利活用の取組事例)